西郷村だより

発行所　西郷村役場
電話熊倉　1番2番7番
編集発行人
相山昭喜
印刷人
ワタベ印刷所

年頭のあいさつ

村長　佐藤帰一

皆さん、明けましてお目出とう御座います。よい年を迎えられて愈々御多幸のほどをお祈り申上げます。

昨年は台風などもなく割合におだやかな年で長期気象予想では冷害があるのではないかなど心配されましたが、農家の皆さんの努力によりまず〳〵の収穫を得たことは本当に結構なことでした。

御存じの通り吾が村は収入の大部分が農作物によるものでありますそしてその収入を財源として商業が営まれ、教育が行われ、道路が出来、橋が立派になり、そして村が豊かになるためのいろ〳〵な仕事がなされていると云つても過言ではないでしよう。然し皆さんもお気付のことゝ思いますが勤めをして取る「かね」もだんだん多くなつて来て居ります。

近い将来、農作物を売つて得る「かね」と同じぐらいになるだろう。いや、務めて得る「かね」の方が多くなるだろうなどと云われて居ります。

道路交通の発達、テレビ、ラジオ、新聞等々マスコミの普及、教育の機会供与、天然資源の積極開発等により吾が村も、都市近郊の農村としての条件が整いつゝあります。

清潔で明るく、静かで気品があり「たくましく」盛り上る力を持つ豊かな村を私は夢みて居ります。それが為にはまず、農業のやり方を改善して行きたいと思います。今の尽では若い人たちが農業を好まない。従つて、もつと楽に農作業が出来るように農地の交換を成し、農道を入れ、農機具がもつと〳〵有効に使えるようでなければ経済的には「ラク」にならないし、特に婦人にはもつと時間を与えなければ清潔で明るい社会は望まれない。都市と農村の所得の差を少なくしたい。経営面積が少ないためなどで農業だけでは生活が「ラク」でない家も多い。従つて勤めの「金」を取つて豊かになろうという人が多い。そして、これからはそういう人が増々多くなつて行くであろう。それらの人々の為に、今ある工場の拡張と繁栄を願うと共に、更に工場の誘致等が必要でありましよう。農外所得を得る方途が村を豊かにする重大なる事業とも思います。

人生を楽しく過すことは誰もが願うところである。それをする為の一つとして行楽旅行がある。吾が村は幸い観光資源にも恵まれている。先輩各位のお骨折と投資家、経営者の御協力と努力により着々開発がなされていることは御同慶に堪えない。喜んでお金を置いていつて下さる事業なので積極的に力を致すと共に観光事業が地元にも潤が及びますよう配慮して行きたいと思います

静かで気品のある人、「たくましく」勇気のある人、いずれも社会を構成するために大切なことであるが、静かで気品を保つ事は深い知性と教養によるものと思うし「たくましく」勇気を持つことは知識と思考と豊かな体力とに基くものと考えるので、長い目で基礎教育の充実を急いで社会教育の整備を図りたい。

村を愛し郷土を愛むことが地域社会を治す日からもまた利するという醇風を作りたいと思います。

老人と恵まれない人々の為には出来得る限り暖かい手を延べた。長い人生航路を子孫のために、家のために、国のために、(注)年寄りの(注)恵まれない人々は老いと思うは老人は老人の面倒をよくみる。年寄りになるということだと思います。

人生それなりに努力してきたにも拘らず、いろ〳〵の恵まれない方が多い。国も社会福祉を期している。村が平和である一面はこれらの人たちのよき相談相手があるという事と、村がたよる村にしたいと思います。

種々やることが多いが、微力の致すところ期待に添うことが少なくて恐縮しております。何卒御鞭撻を賜りますようお願いを申上げ御挨拶といたします。

十五日は成人式

成人者を心から祝福しましよう

通知洩れの方は早速連絡を

来る一月十五日は成人の日であり、この日は当日までに満二十才に達した青年男女を祝福し、また激励する日でもあります。村では成人式を挙げますが、単にこの日を国民の祝日として見すごすのではなく、身も心も成長しつゝある成人該当者を心からお祝いして下さるよう保護者は無論、一般の方にもお願いします。お祝いする方法は、派手にすることはなく、お赤飯などは具体的に良い方法ですが、記念[illegible]金とか記念植樹とか将来該当者と一緒にすくすくと伸びて行くような記念事業など、新しい考え方で祝つて下さい。とくに女子の方は豪華な訪問着などをなるべく控え質素な衣服で式に参加して下さるよう御願いします。なお該当者は昭和十八年一月十六日から同十九年一月十五日までの出生者で、追つて通知が参りますが、事務上の事情で通知洩れの方がある場合があります。そのような折は早速御連絡下さるようお願い致します。(公民館)

昭和三十八年度 成人者名簿

小針イサ子　菊地　章子
松田テルエ　松田　長子
大場　武雄　榛葉　誠治
多治比　功　佐藤清喜子
添田　勝栄　大沢　里子
小針フミエ　土田　英一
鈴木美代子　飯村　文子
和知　紀子　鈴木　一一
大高　久男　鈴木　悦子
小松　絢子　鈴木三四子
青山　文江　石井　弘子
鈴木喜代志　鈴木千代子
鈴木トキ子　三浦　紀子
菊池　敏男　高木ツヤ子
白岩　庫作　相馬　光江
菊池　義雄　添田　洋子
神庭　静子　佐藤　惇夫
菊池　和吉　藤田　昭男
小林　政雄　森　亀
森　ミチ子　佐藤小代子
真船美代子　真船喜代子
真船　弘子　蓬田　海男
安田　敏明　大竹　公子
鈴木　昭枝　芳賀　建夫
小林　恵子　佐藤　弘枝
仁平チヨ子　仁平　元子
陳野原ヒロ子　鈴木幸子
高瀬　章　五十嵐洋子
菊地　誠　佐藤憲一郎
須藤　雅子　小貫美智子
斎藤　富子　鈴木　好子
相川　睦代　相川八重子
真船　一江　鈴木　啓子
真船ヤイ子　真船　紘司
室井　金作　金子　昭治
大高　洋子　坂本　里美
根本　セツ　古川　允士
松井　博司　小林　文雄
根本　栄子　山崎　真枝
大沢　[illegible]勝　佐久間貞夫
松本　[illegible]司　宮崎トシ子
増子トシエ　佐川　英嗣
広瀬　[illegible]　日野　勝治
菅野　但子　西岡　敏子
橋内　弘子　新井　健治
金内　信夫　内海　良子
荒中　[illegible]　白井　綾子
長谷川忠則　石井　敏男
高久美智子　海老名慶子
関口　正代　戸田アケミ
草野　一　中村　道男
渡辺　紘一　菅原　俊夫
鈴木　勝子　八沢　芳郎
石田カツ子　酒井　文子
岩間　武行　田畑　桂子
徳田　勝一　辺見　邦夫
計一一四名　女五九

農耕用軽自動車の届出について

従来農耕用軽自動車（トレラー付耕耘機）の使用届は陸運事務所に届出で標識の交付を受けなければならないことになつて居りましたが、道路運送車輌法の一部改正に伴つて昭和三十八年十月十五日以降、市町村にその届出事務が移管になりました。それで村では各方部に出張して標識の交換や新らしく取付を行いましたが、まだ届出をすまされない方もあるように見受けられますので印鑑（前に陸運事務所に届出してある方は届出済証）を持参の上なるべく早く届出されるようお[illegible]めいたします。

なお、損害賠償責任保険については今まで通り保険に入つておりませんと道路を運行できないことには変りありませんから御注意ください。

（税務課）

新生活運動すゝめる

川谷地区に協力しよう

本年度より川谷地区は県の新生活運動指定地区として、代表担当者吉田伍郎さんを中心に展げられているが、本地区の中心課題は環境整備であり、特に精神面の自覚がうながされる。

一例に阿武隈川の上流にあつて、汚物を捨てるなら下流はいくら清掃しても美化された流れにはならない。そこで川を美しくしようという運動が先づとりあげられ、なあに私一人くらいが——といつた考えでこの運動に協力しないような人がないように話しあいをすゝめている。これはなにも川谷地区民のみに限られた道徳心昂揚運動ではなく、西郷村の人たちみんなで実行し、やがてこの良き波紋が全国に及ぼすよう協力いたしましょう。

事務室変更

庁舎が非常に窮屈なため二階で事務をとることになりましたので御不便をおかけいたしますが御協力願います。

▽階下　村長室、助役、収入役室従前通りで、総務課税務課、厚生課で、電話熊倉一番・二番

▽二階　経済課、建設課、企画課、地籍、統計、固定資産評価、電話熊倉七番

教育委員会、公民館は従前通りで三番です。

謹賀新年

村長　佐藤帰一
助役　高久喜正
収入役　加藤久雄

総務課長　郷　豪男
庶務係長　青柳定男
戸籍係長　坂井周平
鈴木君枝
鈴木和文
大竹寛子
小泉一造
鈴木美智子
石井盛治
地籍統計係長　佐藤貞義
佐藤高次
遠藤栄次
防災交通係長　和知庄治右衛門
税務課長　小山七郎
賦課係長　鈴木森雄
松田テルエ
安部正英
徴収係長　鈴木栄三郎
渡辺紘一
経済課長　大倉繁男
農政係長　白岩誘作
金子浪子
商工観光係長　鈴木忠夫
伊藤亮二
林務係長　鈴木徹
厚生課長　芳賀太計男
年金係長　遠藤勇
中村良一
社会福祉係長　近藤克夫
芳賀昌夫
国保係長　白岩寛
須藤保夫
土田博子
保健衛生係長　八巻誠
主任保健婦　五十嵐操
建設課長　河越保夫
高崎武雄
海老名捨吉
鈴木糸雄
大場武雄
相山昭喜
企画課長心得　植木喜一
企画係長会計係長心得　小針義孝
小針カツ子
固定資産評価補助員　小松重吉
菊地国雄
池田亮一
遠藤フミ
高崎セツ
内田操
鈴木アヤ子
熊倉診療所長　小田倉診療所
議会事務局選挙管理委員会局長　小針正二
書記　高田実
教育委員会教育長　鈴木清司
公民館長事務取扱　佐藤日出夫
学校教育係長心得　小針英子
桜田慶一
社会教育・公民館主事　深谷常雄
佐藤ハル子

『ふえている子どもの非行』

年末年始は子どもたちにとつて冬休みのたのしい時期であるとともに、一方では非行や不良行為などの多くなる時期です。

とくに子どもを甘やかし自由にさせることを民主的な家庭と思い違いしている親、あるいは子どもの家庭教育に自信を失つた親、また子どもに対する無関心や無理解が非行に、不良化に追いやつているようです。

ですから、各家庭でも、地域の人たちも、子どもの不良化、非行化を防止するため絶えず子どもの生活を見守つていることがなによりも必要なことです。

(一)友人関係に気をつける

盛り場に出歩いたり、映画館や喫茶店に行つたりするのは、友人同志で行く場合が多く、またグレン隊とツナガリをもつようになるのも、遊び仲間の関係が大きく影響しています。友人関係をしつかりつかむことと、外出のときは帰宅時間を厳守させることが大切です。

(二)こづかい銭の与え方、使い方を指導する。

子どもが欲しがるから与えるといつた投げやりな与え方や、子どもまかせの使わせ方はあやまちのもとになります。少年非行にはこづかい銭に関連したものが多いだけに、正しいこづかいの与え方使い方を指導することが必要です。

(三)飲酒や喫煙をさせないようにする。

大人の社会で飲酒の機会が多くなり、子どものなかには大人をまねて酒を飲むものがでてきます。また、タバコをすう子どもも少なくない。正月ぐらいはおゝめにみようといつた考えが、子どもに喫煙、飲酒を覚えさせ、不良化の第一歩をすすませる場合が多いのです。

国民健康保険税は納期内に完納して下さい

昨年社会保障制度審議会から、国民健康保険は昭和四十二年までに給付割合を世帯主、家族の別を問わず全部九割給付を行うように答申されております。厚生省はこの答申を実現しようと研究に没頭しておるように見受けられます。その現われとして昨年の十月一日から世帯主全疾病に対して七割給付を実施すべく法律の改正がなされ実施されました。皆さんの中にはもう既に七割給付の恩典に欲された方も大勢いるかと思われます。もしも答申どおり実現された場合は、総医療費の一割だけ負担すればどんな疾病に罹かろうとも安心して治療ができる。この場合支出も大幅に増加することは必然です。恐らく本村だけでも一千万円位は増加するでしょう。皆さんはこの場合国民健康保険税が大巾に増税されるのではないかと疑問をもたれるでしょうが、恐らくは増税されず国庫補助金を以つて負担されるものと信じております。その理由として国民健康保険税はこれ以上課ずることはできない状態にあるからです。村民税三〇〇円(均等割)の人が国民健康保険税は三〇〇〇円～四〇〇〇円を課せられている。この事から考えても、まず国民健康保険税の増税はないものと断言できそうです。その現れの証拠とも云うべきものに昨年から低所得者に対して国民健康保険税が減税されました。このように国民健康保険の将来は苦難の道を歩きながら明るい目標がある。このように国民健康保険税は大切な役割を果しているのですから絶対に滞納せずに納期内に完納するようにしてください。もしも滞納すると延滞金は徴収され、場合によつては財産を差押えられますから、制度の趣旨をよく理解され、全村民完納へ協力願います。

(国保)

国民年金保険料を納めましょう

国民年金制度も発足してから四年を迎へ、社会保障制度の一環として充実した年金制度を皆さんの保険料納入によつて作り上げたいものであります。

国民年金の内容についてお知らせします。

一、保険料を納めなくとも給されるか。

七十才になると年金が支給されます。

二、年金はどんなときに支給されるか。

国民年金保険料納付した者(免除を受けた者も含む)は六十五才から(六十才から受けることも出来る)老令年金の支給。十八才未満の子をかかえて夫に死亡されたときは母と子に母子年金の支給。事故か病気によつて障害者(年金法に示す程度)となつたときは一生年金の支給。その他婦準母子年金等それぞれの状態に応じて年金の支給によつて所得保障することになつております。

現在当村では保険料を納めた母子年金を受けている世帯数は次の通りであります

▽虫笠、大竹フヂ、年額二八、八〇〇円▽芝原、島田秀子、年額一九、二〇〇円

三、国民年金保険料は納期限はいつか。

保険料納付期限は年四回で四月、七月、十月、一月となつておりますので、毎月か三月毎に納めるようにしたいものです。

四、保険料を納めるのに納税組合で集金したときはどんな特点があるか。

年金保険料も税金と同じく納付義務があるので手近かに納める方法として納税組合とか婦人会などによつて集金したときは報酬を差上げることになつておりますので納付組織によつて一括納付するよう希望します。

五、年金保険料はどんなに使われているか。

年金保険料は国で地方公共団体等に貸付けたり、養老施設を建てたり、現在白河市で市民会館を建設しております。

以上のように今後は保険料を納めたことによつて年金が支給されますので必らず納めて将来の年金保障を受けられるようにしましょう。なお、まだ加入しない者もおりますが、これからでもおそくありませんからすぐ加入し、保険料を納付するようおすゝめします。

(国民年金係)

越冬そ菜の防寒

秋野菜の貯蔵注意

(1)腐敗と変質を防ぐには

・低温で変化なく保つようにする。

・湿気を少くする。

・病気のついたものは早く取りのぞくこと。

(2)貯蔵中の過熱防止と発芽を防ぐには

・低温に保つこと。

・湿気を少なくすること。

・暗黒にすること。

(3)貯蔵中の湿度と温度

つまいも、かぼちゃ

・低温に耐えるもの(三～四度摂氏)

ながいも、かんらん、たまねぎ、こぼう

・乾燥をきらうもの

さといも、かんらん、その他葉菜類

・乾燥を好むもの

たまねぎ、かぼちゃ、さつまいも、ながいも、しようが。

(経済課)

公衆感電事故防止について

送電線路「大きながい子がついている線路」に対する感電事故が非常に多いのでつぎのことを守り事故を防ぎましよう。

一、学童に対し、鉄塔、鉄柱に昇らせないこと。送電線路の近くで凧をあげさせないこと。

二、がい子に石などを投げさせないこと。

三、伐木を業とする人は、当社の最寄り事業所に連絡すること。

三、一般人は送電線「電線」附近に棒など長いものを近づかせないこと。もし送電線「電線」に樹木が接触する(倒木等で)おそれがある場合、又は接触している場合は近寄らずに当社の最寄り事業所に連絡してください。

趣味もつて人生を明るくおくろう

とかく夫と妻、嫁と姑などに争いがおこる一つの理由に趣味のないということがある。

西郷村には文化団体が少ない。つまり趣味が芽ばえても育成する組織がないということで、なんとかして俳句や短歌の会、謡曲や詩吟の会、音楽や演劇、読書の会等々すべて建設的な目標をもつ会なら、趣味を通じ[illegible]は重要視す[illegible]

最近このような声を聞かれるようになつたことを機に同好の志を求めている方があればいつでも公民館に御相談にお出下さい。できる得る限りおまとめの役割を果たしたい。

勿論生産団体は大切だが生産団体における人格を養うことは、ともすれば機械的に急進する社会において最も大切なことではないでしようか。

(公民館)

農業基本調査御協力について!!

昭和二十七年から毎年調査を実施しておりますが、今年もまたお忙しいところまことに恐縮ですが皆さんのご協力をお願いすることになりました。この調査は国、県、村農業の実態をいろ〳〵の角度から調べて農業施策の基礎資料とする大切なものであります。本年は特に農業経営上農繁期などに深刻な問題を起している人手不足、つまり不足労働力を補充する雇用労働などの実態を把握する資料整備に重点を置き調査することになりました。調査した資料は皆さんの不利益になる資料にはなりません。法的に守られて居りますので正確な数字で御協力願います。①調査は昭和三十九年二月一日現在②調査経営面積は五畝歩以上。

(地籍統計係)

農機具の手入れ

今年一年中働いた農機具を冬期間格納庫等に入れてそのままにしておりますが、来年も働いてもらうために冬期間に充分手入れをしておくことが大切です。分解出来るところは出来るだけ分解して部品等を点検し注油して整備したうえ格納するように致しましよう。

楽しい一日の心掛

あけましておめでとう。昨年はみなさんの御協力を頂き大きな事故、事件もなく無事新しい年を迎えることが出来ました。今年も明るい西郷の村づくりのために、防犯、交通事故防止にご協力下さるようお願い致します。

一、皆んなで交通事故から子供を守ろう。

二、酒のみ、無免許、スピードの出しすぎの交通三悪を追放しよう。

三、少年の不良化を防止しよう。

一日一度は、自分の子供は何をして遊んでいるかを考え、おかしいと思うときは早く補導の先生に相談し未然に防ぐよう協力してください。

今日も一日みんな無事で、明るい笑顔で楽しい夕御飯をいただけるようお祈りしましよう。

(熊倉巡査駐在所)

12月から来年2月までの天気予報

この冬の寒さは十二月および一月は大体平年並ですが二月は比較的しのぎ易い見込です。中通り地方は比較的晴れの日が多い見込ですが、一時的な大雪が降るかも知れない。

▽気温　一月は時々寒さのきびしい日はあるが、月平均ではやや高くなる見込です。二月は全般に寒さは平年よりやわらいで月平均ではやや高くなる見込です。

▽降水量および積雪

一月は時々冬型の気圧配置が強まり中通り地方では晴れの日が多いが、後半ころに一時的な大雪が降るかも知れません。二月は冬型の気圧配置がくずれ易く天気は周期的にくずれる見込です。降水量は一時的な大雨や大雪で平年並かやや多目となります。

『声』の欄　スマイル

「笑顔」単なる体の一部分の表現にすぎないが、これほどデリケートな、そして重要なポイントを占めるところはない。この笑顔を作ることにより自分の心を明るくし、それが家庭へ職場へ、ひいては世の中全体がその明るさを増すとあらば単なる一部分の「表現」だけにかたずけるわけにゆかぬようだ。新しい明るい村づくりがさけばれている今日、村民各位が常に心掛け明るい村づくりの一端としたいものである。

成人と義務

成人おめでとうございます日本国民は二十才に達すると法律上成人として一人前とされ、選挙権の取得、納税の義務及び社会保険への加入など社会の一員として実社会へスタートすることになります。

さて国民年金は二十才になつた月から加入し、保険料を納付することを義務づけられておりますので役場より届出書を送達されたときは必らず届出し、年金被保険者となり保険料を納付し将来の所得保障に備えるよう心掛けていただきたいものです。